



世界に希望を生み出そう



美馬ロータリークラブ

国際ロータリー2670地区 例会場 森友

出席報告

会員数	会場出席	ZOOM	欠席	メーキャップ	修正合計	出席率
27	18	0	9	0	18	66.7%

2023-2024年度 第39回 例会プログラム

開会点鐘 19時 / 四つのテスト / 我らの生業

会長の時間 / 幹事報告 / 委員会報告 / 卓話 / スマイルボックス発表

会長の時間 (田村直前会長)



重田会長が療養中ということで澤田副会長より本日直前会長として会長挨拶を代理で話すように言われました。そのため約1年ぶりに気持ちを思い出してお話しようと思いましたが、直前に言われたため特にお話することを用意できていませんので昨日TVを見ていた感じたことをお話しします。

テレビ東京で放送されている日本に来る外国人を密着する番組を見ているとブラジルから来た12歳と9歳の子が相撲部屋に来て全国大会に出場する話だったのですが日本人の子と一緒に稽古するのですが負けると泣いたりしながら勝ったり負けたりを繰り返していました。中には12歳で140キロの子もいて、その子に勝つために先代の親方が技を教えて勝った時は感動しました。

全国大会では140キロの子も決勝で負けて2位になるのですがその子も負けて泣いて、子供たちが頑張っている姿に感動しました。

その後テレビではニュースでイスラエルの戦争を伝えていましたがどうせ争うならスポーツの世界で競い合い勝負をつければいいのに、と思いました。争いが避けられないなら殺し合いではなくスポーツの世界で争えば誰も亡くならないのにと感じました。

幹事報告

到着週報 阿波池田 RC 鴨島 RC 脇町 RC

- ・「地区補助金についてのお詫び」「2024 - 2025 年度地区補助金支給の内定について」が来ています。
- ・「ホームカミング制度のご案内」がロータリー米山記念奨学会より来ています。
- ・小松島南ロータリークラブより「創立 50 周年記念式典の御礼」が来ています。
- ・支払い調書を回覧しますのでご確認をお願いします。

委員会報告

特にありません。

卓話

三好博子会員



以前、子ども食堂を始めたというお話をしましたので、今回はその経過報告をお話ししたいと思います。私が子ども食堂を始めるきっかけがそもそも認知症の人を対象にユニバーサルカフェをしていました。そして真のユニバーサルカフェはお年寄りだけではなく子供たちも対象にしたいと思い始めました。

協力者も現れ 2021 年より始めることにしました。私が脇町で、その協力してくれる人は学校の先生で、理事になっていただき美馬町を担当してもらうことになりました。その人は情熱的でマラソン選手を呼んで運動をみんなでしたり花火大会など様々なイベントを企画実施して子供たちの居場所づくりをしていただいています。私はそこまでのことができずにただご飯を作るだけですが頑張っています。

少子化を県でも問題視して助成金をいただけるようになって来たりして、設立当初徳島県に 3～4 ぐらいしかなかったのですが今では 20～30 ほどあります。ライオンズクラブが応援してくれたりして阿波市で 2 つ池田には 3～4 ぐらい子ども食堂があります。池田では月一回ぐらい開催しています。脇町は月 3 回ほど開催しています。

40 年ほど前私自身が子育てをしていたころから子供の数は少なく感じていました。当時は働きながら子育てをするには難しい環境でした。そういった環境を変えることができればという思いもあります。

大塚製薬のような大企業から寄付をいただいたり、地元の方が畑で取れすぎた野菜を寄付してくれたりして皆さんの協力で何とかやれています。美馬ロータリークラブの会員の辻さんも食材を寄付していただき、唐揚げやカレーなど作らせていただき本当に助かっています。

食べ物を食べられない子供たちも普通ではやはり集まりにくく感じています。そういう子供たちも集まりやすい環境を作り、そこでいろいろな相談を聞いて子供たちに手を差し伸べていこうとしています。完全に

ボランティアでしているため準備から本当に継続して続けることが難しいです。

10月くらいから独居老人の人たちに生活支援を始めたいと思います。毎月100~200人くらいの家を回って食材を渡したりしていくつもりです。老人の安否確認も兼ねて活動していくつもりです。

コロナで田舎は遮断されてしまいましたが子供も老人も集まれる場所を作っていきたいと思います。今は子供も老人も個食が多くなっています。年齢を重ねると味や臭いがわからなくなり何日も置いていたものを食べてもわからなくなるそうです。子供も親が仕事でいなく一人で食事をとるためにコンビニなど手軽に食べるようですが栄養バランスを考えると心配になります。そのため弊社は栄養士の資格を持つものが栄養バランスを考えて作っています。

そしてしてあげるだけではなくお年寄りの人も作る側に回っていただき、やりがいを感じていただき循環型ボランティアをしていきたいと思います。

子供はやはり日本の財産です。子供の声がたくさん聴けるように、都会へ行ってもまた戻ってきたいと思える地域にしたいと思っています。私は協町出身ではありませんがここで生活してきて協町に恩返しをしてあの世に行きたいと思っています。

スマイルボックスの発表

田中務会員「4月10日で72歳になりました。誕生日ありがとうございました。」

社会員「貞光中に電子黒板を寄贈しました。」

「カルピス社がバターを製造して弊社の阿波尾鶏とコラボをすることになりました。」

「管理職を育てるため半年間研修を行っています。」

「ヤマサ醤油が弊社と鶏肉のメニューを共同開発することになりました。」

「セブンイレブンで阿波尾鶏の唐揚げのおにぎりが発売されることになりました。」

お土産に用意しておりますので皆様お持ち帰りください。」



次回例会

4月30日 19時~

場所 森友

※出欠連絡は前日昼までに幹事までご連絡ください。